

## 福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（6月分）

派遣先：Vilnius university

氏名：児玉七海

こんにちは！ ヴィリニウス大学に留学中の児玉七海です。早いもので、最後の月例報告書となりました。リトアニアは日本と同様、四季がありますが、冬の期間が比較的長く、逆に春や秋、夏が短いという特徴を持っています。最近30度近くまで日中に気温が上がるためとても暑いのですが、リトアニアの建物は基本的にエアコンが設備されていないので、今も少し汗をかきながら寮の部屋でこの報告書を作成しています。

### ■ 夏休みスタート！

前回の報告書でも書きましたが、基本的に留学生が多く受講している授業は6月の最初の週で終了することが多く、実質6月から夏休みがスタートします。成績の発表も早く、テスト後一週間以内には成績が出て、メールで詳細が送られてきます。私もすべての授業を満足のいく形でPASSできたので、いよいよ夏休みがスタートです！

### ■ 2度目のイタリア

4月のイースターホリデーでも訪れた大好きなイタリアへ、夏休みにも行くことにしました。今回は首都ローマとフィレンツェに訪れましたが、さすが夏のイタリア。気温がとても暑く、また観光客も非常に多かったため、へとへとになりながらの観光となりました。しかしローマではコロッセオやバチカン、その他の遺跡など、テレビや教科書でしか見たことのない世界遺産を自分の目で見れたため、その迫力に感動の連続でした。フィレンツェはローマに比べると人や車の量も落ち着いていて、個人的にはフィレンツェの街の雰囲気が好きでした。また、イタリア全土に共通していえることですが、イタリア料理やワインがとても美味しく、本場の味を楽しむことができました。今回は時間の関係で、南イタリアのナポリやシチリアへ行くことができなかったのですが、将来、必ず、またイタリアへ訪れると誓いました！



## ■ Midsummer Night

6月24日は、リトアニアの祝日 (St. John's Day) で人々が Midsummer のお祝いをします。私もヴィリニウスで行われた伝統的なお祝いに参加したため、その様子について記していきたいと思います。6/23-24 は一年で最も夜が短い日とされていて、日の入りが22時頃ですが23時過ぎまで外が明るく、日本ではできない不思議な体験をしました。伝統的なお祝



いでは、子どもからお年寄りまでがリトアニアの伝統衣装を身に付け、女の子や女性は森に生えている草花を使って、自分の手で花の冠を作り、頭の上に乗せていました。そして自然豊かな森の中で、人々が幸せな表情を浮かべながら伝統的な民謡に合わせて愉快地にダンスをするのです。この様子から、リトアニア人が一年に一度のこのお祝いを心から大好きなのだと実感しました。また、リトアニアの伝統や民族の在り方に深く関わった経験だったと思います。この日はお祭りの最後まで滞在することは不可能でしたが、かつてはこの日に寝ることなく、自然の中でお祝いをし続けた人が一年を通して健康になれると信じられていたそうです。

## ■ 最後に

これまで半年という短い間でしたが、この報告書を最後まで読んでいただきありがとうございます。また、国際課の方々や助言教員の先生、教務課の方々のサポートのおかげで充実した交換留学を送ることができました。ありがとうございます。

最後に言えることは、ヴィリニウス大学は間違いなく留学先として最高の選択肢だということです！日本ではあまり知られていないリトアニアですが、だからこそ冒険しがいがありおもしろい発見や驚きが毎日毎日飽きることなくあります。留学生もヨーロッパからの学生が多く、アジアとの文化の違いや政治認識の在り方、歴史など、日本には知ることができない異文化に肌で感じるができます。特に春学期は、暖かくなるにつれてヴィリニウスで活発にイベントが多く、リトアニアの文化や伝統に触れながら楽しい日々を送ることができるため、本当におすすめです！

それでは、リトアニアを離れたくない気持ちが山々ですが、、

Aciu Labai Lietuvai! (Thank you, Lithuania!)

